

■ 離任される先生方からのメッセージ

離任される先生方からメッセージをいただきました。紙面の関係で短いメッセージですが、先生方の生徒の皆さんへの熱い思いが伝わると嬉しいです。

○後藤昌英 副校長(数学科)

コロナ禍のなか、様々なことが変わりました。しかし、逆に今まで考えもしないこともたくさん生まれてきました。世の中は急速に変化しております。YIS で培った教養を十分に発揮し、5年後、10年後を見据えた人生を送ってください。桜がとってもきれいな学校でした。ありがとう。

○坂本和弥 先生(地歴公民科)

言葉は自分の思いを映し出す鏡、相手のこころを受け止めるための大切な道標です。会話を通して私たちは希望と勇気を手にし、寄り添い合うことができます。「グローバル時代に適応するためのコミュニケーションスキル」の飾詞に惑わされず、高い見識と志を持って、これからも深く学んでほしいです。ご活躍をお祈りします。

○笠松真由美 先生(保健体育科)

体育の授業をしていて、生徒が楽しそうに参加し、また努力の結果の達成感を感じてくれるとこちらまで嬉しくなります。これからもずっと、体を動かす楽しさを忘れないでほしいと思います。私から皆さんに伝えたいことは、好奇心を忘れずに。簡単にはあきらめないこと。人事を尽くして天命を待つ。お世話になりました。

○出羽由紀 先生(外国語科)

たくさんの行事を実施することができなかった今年、動画コンテストや遠足でみなさんが見せてくれた笑顔や楽しそうな姿。廊下での明るい挨拶、思いを込めた感謝の言葉。日々のさりげない出来事に、「幸せ」は、いつもすぐそばにあるのだと勇気づけられる毎日でした。8年間の素敵な思い出の数々、ありがとうございました。

○宇喜多宣穂 先生(外国語科)

YIS 6年、外語 7年。YIS の過去と現在と未来にかかわられて幸せでした。最後に 15 期の皆さんと一緒に過ごせたことが何より嬉しいです。未来を切り開くのは今の自分。何もしなければミスもないが成長もない。迷ったら前に出よう。IB の学習者像が YIS の皆さん全員に伝わりますように。皆さんのご活躍を心から祈っています。

○溝淵知子 先生(国語科)

知的好奇心あふれる YIS のみなさんとの 5 年間は、貴重な経験となりました。効率ばかりが求められる世の中ですが、一見無駄に思えるような回り道や失敗の中にこそ多くの気づきや学びがあり、人生を豊かにしてくれるのだと思います。人からどう思われようと自分の「好き」を大切に、力強く歩いてください。

○人見栄一 先生(地歴公民科)

この学校は緑に囲まれ、春は鶯が鳴き桜が咲くなど落ち着いて学校生活を送ることのできる素晴らしい環境にあると感じています。皆さんには勉強や部活動等に励み、そうした中で人間的にもさらに成長して欲しいと願っています。では皆さん、お元気で。

○中村一樹 先生(数学科)

なぜ数学の勉強が必要なのか？私は「考える力」を養うためだと思います。例えば、試合中に腕立てをする場面は余りないですが、腕立てで得られた筋力は試合に役立ちますよね。それと同じで、数学が人生で直接役立つ場面は少ないですが、数学で得られた「考える力」は役立ちます。数学が苦手でもいいんです。筋トレですから。

○中澤祐二 先生(数学科)

以前 PR の時間に生徒から「こんなことを書くのは偽善ですかね」と質問されました。私も同じように思ってなかなか行動に移せない時期がありましたが、「偽善だと思われてもいいや、自分がやりたいからやるんだ」と考えるようになってから色々行動に移しやすくなりました。皆さんの希望する進路が実現することを祈っています！

○増島真子 先生(外国語科)

異文化への好奇心、言語に対する熱意、多様性を受け入れる姿勢。どれも YIS 生らしく、そんな皆さんと過ごした 5 年間は刺激的でした。面白く貴重な経験ができ感謝しています。世界中が変化の渦にある中、置かれた環境で何ができるか、を考え YIS 生活を充実させて下さい。Intelligence is the ability to adapt to change. 健康と健闘をお祈りします。

○小野行雄 先生(外国語科)

目指すべきはグローバル「人材」ではありません。外国語を身に着け、国際的視野を持った「グローバル市民」になってください。環境を自分のこととして悩める人。香港の人、ミャンマーの若者、苦しむ人の痛みを感じ、共感し、手が差し伸べられる人。困ったら勇気を出して声をあげられる人。そんな YIS 生が未来への希望です。

○金成つね美 先生(外国語科)

短い間でしたが、ありがとうございました。

2年次生のASやETMでの授業では、特に皆さんが、興味、関心を持って取り組んでいた姿勢や、皆さんとのいろいろな話が忘れられません。これからも、勇気と好奇心を持って、知らない世界を学び続け、心豊かな人に成長してってください。

○矢部圭祐 先生(外国語科)

横浜国際高校の皆さん、2年間大変お世話になりました。皆さんが英語を用いてクラスメイトや留学生等とコミュニケーションを取る姿を見て、その英語力だけでなく相手のことを思いやり、言葉を選ぶ姿に感心していました。短い期間ではありますが、皆さんと過ごせた日々は私の財産です。本当にありがとうございました。

○山田久美子 先生(養護)

「resilience/レジリエンス」ご存じですか？心理学的には、変化や逆境に直面したときに、落ち込んだり凹んだりしながらも困難から回復し、それを糧に成長していく力のことです。YIS生はこの「resilience」が高いと思います。「今までの自分・これからの自分」を信じて心豊かに進んでください。応援しています。今までありがとう。

■元気洗刷！！～球技大会～

3月23日、生徒の皆さんが大好きな年度末の球技大会が開催されました。青空の下、新緑が芽生えてきた芝生の校庭と体育館で熱戦が展開されました。感染防止に気を付けながら、学校全体で楽しめる行事を開催できたことが嬉しいです。



■令和3(2021)年度 当初の日課

非常事態宣言が解除されましたが、感染防止対策のため、朝の時差通学等を継続します。

※4/6(火)始業式は、9:00登校

※4/7(水)入学式は、2、3年次生は自宅学習

※4/12(月)からの日課表

I (1校時) 9:10- 9:55

II (2校時) 10:05-10:50

III (3校時) 11:00-11:45

IV (4校時) 11:55-12:40

V (5校時) 13:25-14:10

VI (6校時) 14:20-15:05

VII (7校時) 15:15-16:00

【部活、委員会活動実施可→ 18:00 完全下校】

■「どうなる?!」来年度の「YIS祭」

3月24日、終業式の後、文化祭実行委員会が開催され、令和3年度のYIS祭について話し合いました。本年度は、コロナ禍によりYIS祭は中止となり、校内行事として「YIS動画コンテスト」を行いました。生徒からは、「みんなで協力して思い出を作ることができた」「動画の編集スキルが身についた」などの振り返りの声が上がっています。

来年度のYIS祭は、6月25日(金)及び26日(土)に開催予定です。本年度の振り返りや反省点を生かしつつ、感染防止対策を図りながら、来客を迎えての「YIS祭」を実施したいと考えています。委員会では、生徒から、早速全体のテーマや当日の内容作りに向けてさまざまなアイデアが発表されていました。

来年度が始まり4月早々に、新クラスから選出された委員による文化祭実行委員会を開催し、正式にテーマ等を検討する予定となっています。皆さんの柔軟な発想を生かした新時代の「YIS祭」を楽しみにしています。各クラスや団体は、実行委員会での協議の後、テーマや実施要項に基づいた企画を考えていくこととなりますが、次のポイントに注意して、自分たちができることは何かを一人ひとり考えてほしいです。

※6月25日(金)26日(土)両日とも「午後(13:00～15:30)のみ一般公開とする予定です。」

※一般公開の時間帯は、来客・生徒ともに常時水分補給は可能としますが、校内での食事はできません。

※校内で調理した食品を販売することはできません。